# START

新年度からスタートする可燃ごみ処理の民間委託と町 今回は取材企画として編集委員がそれぞれの 多くの住民の皆さんも注目している

施設に出向いて直接お話を聞いてきました。 下記2事業を議会目線で切り込みます!!

# 可燃ごみを再エネ利用

現状のごみ処理施設の老朽化に伴い「可燃ごみ」処理の在り方を協議し、 オリックス資源循環株式会社に10年間民間委託することになりました。

町広報11月のごみ処理方法の 特集を見ましたが、よく分かりま せん。直接聞きに行き、町内 に周知しようと思っていました。 (神部悦男さん・錦町)

「乾式」メタン発酵皿の メリットと施設の概要は

「可燃ごみ」を焼却処理せずにエ ネルギーとして活用することで、 CO₂排出量低減と4R → 推進で循環 型社会に貢献。施設規模は国内最大級、 さらに乾式メタン発酵は関東圏では 初めての施設となります。

エネルギー化する方式。

> 分別すること のメリットは

処理費用を支払って ごみ処理を委託する ため、正しく分別して発酵 に適さないごみを取り除き、 量を減らすことにより、町 が負担する処理費用を軽減 することができます。

ごみ「分別」等の 注意点は 現在の「可燃ごみ」を有効活

用するものですが、プラスチック 類などの不適物の混入を11%以下に、草木に 関しては最長辺40㎝太さ3㎝以内を厳守、 衣類などの布は不可です。 従来の「燃えるごみ」の 認識ではなく「バイオマ スごみ」や「エネルギー ごみ」といったように 意識を変えていただく ことが大切です。

今後どうすればよいのかしら。 集積場所に、一時的に看板 を出すなどして、分かりやすく してほしいです。 (高瀬咲さん・大関町)



ごみを減らすことは 町の負担を減らすこ となのですね。 (内田礼子さん・大塚一)

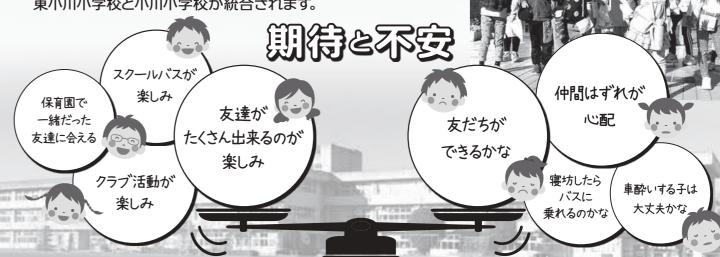
分別の 周知



住民の皆さんに、可燃ごみ処理委託や分別方法の一部変更に ついて、十分に伝わっていない状況です。町は早急に区長、環 境美化推進委員に説明するなどして、周知を図ることが必要 です。また、委託については中期的な視野に立っての取組で あり、今後、委託の現状を踏まえ、10年後を見据えた「ご み処理」について検討を継続していくことが大切です。

4R…Refuse「リフューズ(ごみになるものを断る)」、Reduce「リデュース(抑制する)」、Reuse「リユース(再利用する)」、Recycle「リサイクル (資源として再利用する)」

令和4年度から町立小・中学校短期再編計画に基づいて 東小川小学校と小川小学校が統合されます。



# 宿題

今回の再編によるスクールバスの導入は、東小川小学校だけではなく、 小川町全体の課題です。以下の内容について皆さんはどう考えますか?

1, 利用料の受益者負担

1世帯あたり月額実質1000円?

- 2, 乗降時と車内の安全 添乗員さんはどうなるの?
- 緊急・災害時の対応

スムーズに対応できるの?

4, 他の小学校の遠距離通学

下里・高見・西古里・腰上・木呂子などは?

5, 町の財政負担

スクールバス1台 あたり 年間1200万円(210日稼働)











東小川小学校と小川小学校の統合を皮切りに、他の町立学校の 再編が動き出します。町民の声に耳を傾け、スムーズな再編計 画がスタートすることを期待します。子ども達にとって望ましい教 育環境の整備を図るため、今後も議会は注視していきます。